

F リーグの発展に向けた現状分析 Analysis of present status for the growth of F -league

1K09B059

指導教員 主査 作野 誠一 先生

岸 亮介

副査 間野 義之 先生

【目的】

2007 年、日本フットサル連盟の主導により、日本初となる全国フットサルリーグ、「日本フットサルリーグ」（以下 F リーグ）が発足し、日本におけるフットサルは新たな一步を踏み出した。『レジャー白書 2011』（公益財団法人日本生産性本部余暇創研）によると、フットサルの競技人口は 370 万人となり、3 年前の 280 万人から 32.1%増加したことが明らかになった。このように日本におけるフットサルの普及は急激なスピードで進んでいるが、まだメディアコンテンツとしての価値は低く、F リーグの試合やフットサル日本代表の活躍がメディアに現れることも他のメジャースポーツと比較すると少ないのが現状である。

佐野（2007）や浅岡（2012）が述べるようなトップリーグが果たすべき役割を未だプロ・アマ混在の F リーグが担っているとは言えず、今日のフットサルブームを一過性のものにしないうえにも、F リーグの発展と拡大は日本フットサル界にとって必須条件だと言えるだろう。

本研究では、日本におけるフットサルのさらなる普及、競技力向上、フットサル文化の定着のため、F リーグの現状を調査し、問題点を明らかにするとともに、その改善策を考察することを目的とする。

【方法】

本研究ではまず F リーグ公式サイト、各チーム公式サイトから現状を調査し、尾崎（2008）らの研究をもとに J リーグとの比較研究を行った。F リーグ拡大のための必須条件である新規チームの加盟に関して、F リーグ参入までの過程については原口（2010）、中村（2008）の研究をもとに現状と課題を調査し、政本（2011）の研究から解決策を考察した。また、Stratton（2004）、兼清（2012）の研究をもとにスポーツにおける人材育成の重要性に関して調査を行い、F リーグ所属各クラブの下部組織について調査した。また、経営面、財務状況については主に原口の研究を参考に分析し、その中でも重要とされたスポーツスポンサーシップについては辻（2011）をもとに検討した。最後に海外事例について中村の研究をもとに、F リーグにも適用が可能な優良事例や課題に関して検討を行った。

【結果】

F リーグは開幕以来、入場者数に関しては徐々にではあるものの伸び続けているが、チケット価格やアリーナのキャパシティに起因する入場料収入の少なさが一つの課題となっ

ていることが明らかになった。

また F リーグは 2016 年までに 16 チームでの開催を目指しているが、新規チームの成功事例が少なく、F リーグ加盟を目指すクラブは様々な困難を自らクリアしていかなければならない。その中で必要となるのは組織資本・人的資本・物的資本・財務資本の確保であるという結果に至った。

F リーグ、そして日本代表のレベルアップに必要な要素の一つとして人材育成が挙げられたが、現状では多くの F リーグ各クラブの下部組織はトップチームに選手を輩出できる環境が整っておらず、スクール事業としての側面が強いことが明らかになった。

さらに、財務分析の結果、ほぼすべてのクラブが前述の入場料収入に加え、広告料収入が他のスポーツと比較すると少なく、主に人件費である支出を賄うことができていない現状にあり、赤字経営であることが明らかになった。

スペインとイタリアのプロフットサルリーグについて調査した結果、それぞれに広告料収入の多さや地元住民との結びつきの強さなど、F リーグが参考にすべき優良事例が多くみることが出来た。

【考察】

入場料収入に関してはチケットの価格・種類の多様化が解決の糸口になると言えるだろう。観戦者の様々なニーズにこたえることができる価格設定や話題を呼ぶユニークな商品を用意し、入場料収入の増加を狙ったマーケティング活動が必要になる。

F リーグ加盟を目指すチームは先の 4 つの資本を確保するとともに、準会員制度を活用し、準備段階において継続かつ健全なクラブ運営のノウハウを得ることが重要である。

また、優秀な選手を自らのチームで育成することができる下部組織の環境を作り上げることも求められる。選手が小・中学生のころから長期的なプログラムで育成し、トップチームで活躍する地元出身のスター選手を生むことが出来れば F リーグ、日本フットサル界にとっての財産となることだろう。

広告料収入に関してはスポーツスポンサーシップの重要性について改めて見直す必要がある。企業とチームにとって Win-Win の関係を築くマーケティング活動が広告料収入を得るために必須条件であると考えられた。このように、F リーグを多方面から発展・拡大していくことによって日本におけるフットサルの普及、競技力向上、文化の定着につながっていくものと考ええる。